

ふるさとの昔 15

御神木

伊勢神宮では社殿を建て直し、ご神体を遷す「式年遷宮」が20年に1度行われます。次の遷宮は令和15年です。

社殿造営で最も重要な用材は御神木といわれ、木曾ヒノキが使われます。木曾谷で伐採された御神木は、川に流して伊勢まで運ばれました。けれども木曾川にダムができてからは上流から川を下ることができなくなりました。昭和24年に予定されていた遷宮のための御神木は美濃太田まで鉄道で送られました。そこから川下りが始められ、勝山湊に寄港しました。



昭和16年、勝山湊に寄港した御神木

写真はその時の光景で、のぼり旗の「大(太一)」は「最もすぐれたもの」の意味です。

川下りは、それからは行われなくなり、昭和48年以降の遷宮の御神木はトラック輸送となり、人々は沿道で御神木の通過を送迎しました。令和15年の遷宮のための御神木は今年6月に坂祝を通過します。



さかほぎかう!

パーソナリティ: 小栗かおる

毎月第三火曜日

18時~18時20分

次回のゲストは、坂祝町教育長 渡辺英哉さんです。お楽しみに!

#教員人生

スマートフォンでもFMららを聴くことができます。FMららアプリダウンロードはこちらから。

App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう

広報文芸

町民俳句 文化協会さかはふり俳句会

若葉透くパターゴルフよ風の青	きらきらと光る川面や初夏の風	庭石に主顔して雨蛙	夕立やかはききつたる土匂ふ	夏嶺空コトコト赤い長良線	風碎き怒りたいのか五月雨	つつがなきくらし続きて筍飯	葉桜となりて雑木にまぎれけり	この子らによき明日あれや武具飾る	緑さす古書に多きや皮表紙
恩田 いせ子	恩田 いせ子	小関 美砂子	小関 美砂子	藤本 多寿子	藤本 多寿子	伊藤 文	伊藤 文	兼松 禎子	兼松 禎子

7月のゴミ収集情報

【もえるごみ収集日は、月・水・金曜日です。】

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。
※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ収集 22日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。
金物、ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。
袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 20日(日)

時間: 8時~10時
場所: 町内各自治会公民館
収集物: ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池

平野 千鶴子 様(黒岩)	丹羽 明美 様(深萱)	吉村 政富 様(酒倉)	おくやみ
85歳	83歳	95歳	